（廿三日夕刊）

# 磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢）場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 磐城新聞社 福島縣平町五六四番

（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年十二月廿四日　磐城新聞　（土曜日）　第二千百二十六號　（一）

## 「行け！海外へ」（中）

平町ホジチエトンストア内
大井川和郎

昭和元年度の輸出貿易は二十億四千五百萬圓、輸入は二十三億七千七百萬圓、差引き三億三千萬圓の不足となる、然かれども他に貿易外の收支と言ふものが有つて、昭和元年度の受取勘定は三億一千五百萬圓にて支拂勘定は五千萬圓、差引二億六千五百萬圓の收入となり、是が貿易勘定に振替えてる筒六千五百萬圓の輸入超過となり、是丈けの金貨を海外に出さねばならぬ日本はかゝる狀態を數年行ふて來た、歐州大戰時に於ける現金國は次第に沒落して元の狀態に返り止る所なき勢にて進む悲觀す可き狀態で有る、斯くして日本は行詰つて來た、此の儘に推移して行つたなら果して日本は何うなる事で有らう、國土は狹く人口は增加、學ぶ道は有つても經濟の制限それも或はよいで有活資料は益々不足して經濟は益々逼迫して來る、思想も最上の行き詰り打開策と思想は惡化して來る、勞働爭議も深刻味を增して來る、商工業は振はず失業者は增加て來た、勞働者も智識階級の人達も失業に惱み、妻は病床に臥し兒は餓にな苦の悲慘事は隨所に見られる機會も多くなつた。十ヶ万至十數年學窓に有つて試驗地獄に惱まされた人達も一歩社會に出すれば又就職に血眼にならねばならぬ爲に行詰つて居る。勞働爭議も至る所に勃發する丈恰も颶風の如く資本家も勞働者も共に疲れ今後如何にして職業を經營して行くやに就いて惱み、妻は病んで居る。職業するものさへ此の如き悲慘事は隨所に見られる機會も多くなつた。十ヶ万至十數年學窓に有つて試驗地獄に惱まされた人達も一歩社會に出すれば又就職に血眼にならねばならぬ爲に行詰つて居る。勞働爭議も至る所に勃發する丈恰も颶風の如く資本家も勞働者も共に疲れ今後如何にして職業を經營して行くやに就いて惱み、妻は病んで居る。職業するものさへ此の如き悲慘事は隨所に見られる機會も多くなつた。十ヶ万至十數年學窓に有つて試驗地獄に惱まされた人達も一歩社會に出すれば又就職に血眼にならねばならぬ爲に行詰つて居る。勞働爭議も至る所に勃發する丈恰も颶風の如く

（以下略）

## 血を洗ふ

（220）

講談

高橋掬太郎創作
布施中八郎揮毫

先を越して

やがて忠太郎が絶好の機をかくまでおいて横山大五郎を誘ひませぬ、近頃怪人が姿を見に出し怪人をたびき出してせませぬのも銃砲に恐れた討たうとしたが、一度も怪人が姿を見せぬので、徒勞に終つたのであつた

「あの置手紙を致して姿を消してから一度も姿を見せぬのは、勿論我が君の御威勢に怖れたのでありませうが、また一つには警戒の嚴しいことを知つて、一時姿をかくしてゐるのかも知れませぬ、一時姿をかくしてゐるのかも知れませぬ、こちらが安心して油斷するのを待つてゐるのかも知れませぬ。そして、こうに云つだ、

忠太郎は觀月の宴こそ、城内の者が上下心を許して油斷のならぬ時かと思ひまするか――」

「うむ、いかさまのう」

「うつかり心を許して居ま斬り込むやうなことがあいて些か御相談を致したしてはどのやうな大事が起いまがござりまする」うるものなら忽ち銃砲組に包「如何なることじや申してられ一命を落さねばならみい？」の用心が肝要かと心得ますそれは、例の怪人でござ」

「うむ、怪人と云へば近頃うちや、して如何に致せばよからうかの」

「されば、表向は例年の如く松並本へ銃砲組だけは怠りなきやう備へさせてたく方がよからうかと考へまする」

「左樣か、萬事よいやうにのう」昌康は笑つた

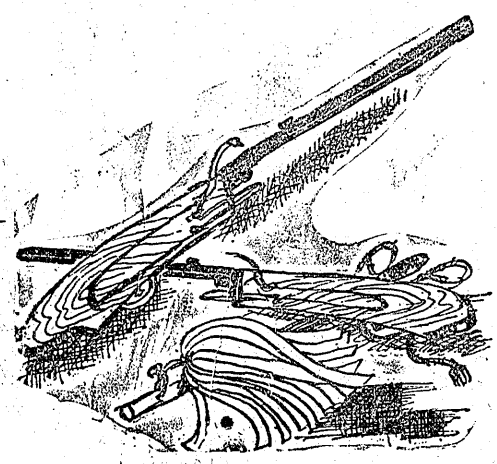
「左樣でござりまする、風の如く現れ、また風の如く消える早業がありましても

銃砲には敵ふものではありませぬ、一時姿をかくしてゐるのかも知れませぬ、一時姿をかくしてゐるのかも知れませぬ、こちらが安心して油斷するのを待つてゐるのかも知れませぬ。そして、こうに云つだ、

忠太郎は觀月の宴こそ、城内の者が上下心を許して油斷のならぬ時かと思ひまするか――」

「重太夫か、何事ぢや？」

今宵は例年の觀月の宴なる故、若し忠太郎が安心して



休業

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

本年掉尾臨時大興行
（短期四日間の公開です）
大谷友三郎、マキノ輝子 主演 十八卷上映
お酒落狂女大會
時慶安の頃突如大江戸を戰慄せしめたる怪學件それは何事ぞ…渦は渦を卷き謎は謎を生む
尾上紋十郎 松村 雀子、賀川 清 主演
捕物奇談 影繪の如く 二十卷 全部上映
伊井大老の時代頻々たる怪盜の出沒に人々戰々たり目明し奉行之が逮捕に全力を注ぐ怪盜との衝突突如投げ出されたる大爆烈彈!!
大帝キネ近來の大作
一、二部合同五百名出演
富士の曙 曾我物語 月雪花
尾上紋十郎、千草香子、中村小福 主演
マキノプログクション特作
◆吉川英治原作
萬花多寶塔 十五卷 上映
片岡千恵藏、鈴木澄子主演
十三日替り
キネノ帝キネ映畫
（割引券御、參の方は十五錢）
平町南町
日東商會
電話二一六番

日々皆樣の御贔負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉強仕り候
是非引續き御愛顧の程御願申上候
記
期間 十二月 末日 デマ
梅 參圓也（御一人前 蕎麥、車賃往復）
松 五圓也（御酒御料理三品 御一人前 蕎麥、車賃往復）
櫻 七圓也（御料理五品 二人樣デモ差支アリマセン 蕎麥、車賃往復）
（以上現金ニ限ル）
松ケ岡公園池ノ端
割烹 ときわ
電二一六番

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

日東のラヂオ
最新高級の
ラヂオ製造販賣
並に部分品提供
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

平町五丁目（釜屋横町）
須藤まつの
生花教授
池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします、また遊びがてら御出で下さい

財界不況に伴ひ値下斷行
十一月二日ヨリ
カツレツ 二十錢 カレイライス 二十錢
メンチカツ 二十錢 ハヤシライス 二十錢
ハヤシビフ 二十錢 ポークライス 二十錢
御酒 一本 二十錢
右品出前モ同値……
西洋御料理
カフエータヒラ
平町一丁目（電話六二〇番）

歲末進物用品
メリヤスシヤツ 七八十錢ヨリ 二圓位マデ
本毛シヤツ 二圓五十錢ヨリ 十五圓位マデ
婦人毛シヤツ 壹圓五十錢ヨリ 五圓位マデ
都巻 壹圓三十錢ヨリ 五圓五十錢位マデ
オーバーセーター 二圓位ヨリ 十五圓位マデ
便利ナ商品券ヲ御利用願ヒマス
其他各種取揃へテ有リマス
にツルヤ
電話百四十番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

常磐第一ノ大炭礦タル
磐城炭礦ノ石炭
◎石炭と「コークス」の特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
ドーシテアンナ良イ品ヲ、ソンナニ安ク賣レルカト驚カレ一度使ヘバ永久ニ御使ヒ下サルノガ當店石炭ト「コークス」ノ特長デス
値段正十貫目一俵金六十五錢也
平驛前 ◎阿部石炭商店
電話二三七番

田町聯合
福引大賣出し
期間（十二月二十一日より十二月二十七日まで）七日間
壹圓 每二福引券進呈
各商店大馬力をかけ良品廉賣
御買ものは田町へ……
田町睦會

景品目種
特等 最上桐箪笥一竿
一等 上白米一俵
二等 キツユーマン ヒゲタ 醬油樽
三等 メリヤスシヤツ
四等 鹿沼ホーキ
五等 上等桐下駒
七等迄デ山なす景品

# 鐵道省を護聞化して 廿萬圓の罪惡
## 内郷炭を町田炭と欺罔し 磐炭の秘密事件暴露

平檢事局では昨二十二日本郡内郷村磐城炭礦採炭課長菅原萬次郎氏外六名を召喚し窪田、三笠兩檢事係りで嚴重取調べ中であるが事件の内容を聞くと同會社が鐵道省と契約した納炭は炭質優良の同炭礦町田坑炭に限るものを

### 巧妙な方法手段を以

て炭質粗惡なる内郷坑炭を納入し國庫に對し約二十萬圓の損害を與へた詐欺事件が元同會社員たりし木下良一氏の告發により端なく明るみに出たもので斯くの如きは本邦炭礦業界未曾有の犯罪にして其の筋では用捨なく處斷の方針であるらしいが告發狀に現はれた事實を摘記すれば

（一）鐵道省ニ納炭スベキ契約ノ町田坑ノ出炭ト内郷坑ノ出炭トハ價格ニ於テ噸當リ一圓四五十錢ノ差アルヲ奇貨トシ右兩坑ヲ秘密ニ地下ニ於テ連絡セシメ内郷坑炭ヲ町田坑ヨリ搬出シ（總出炭ノ約半數）町田坑炭トシテ納炭セリ

（二）右兩坑貫通ト同時ニ鐵道省ニ提出セル坑内圖面ハ全然連絡ナキモノトシテ僞造セル文書ヲ以テ右ノ事實ヲ敢行セリ

（三）右ノ事實ハ當時礦業部役員タル巖眞璉、眞岡德治（以下廿三名略）氏等ノ悉知セル所ニシテ特ニ採炭課長菅原萬次郎、庶務課長濱崎善三郎、書記大方遠也ノ諸氏ハ告發人ニ對シ右ノ事實ヲ洩ラサヌ樣依賴シ來タレリ

（四）右事實ニ基キ被告會社ハ鐵道省ニ提出セル文書ヲ僞造シタル上納炭契約ニ反シ最少限度ニ見積ルモ約二十萬圓ノ不當利得ヲ犯シ國家ニ損害ヲ與ヘタルモノナリ

云々と云ふにあるが平檢事局の取調べの進轉に伴れ同會社專務倉田龜吉氏外最高幹部の身邊に及ぶらしく事件の成り行き極めて重大視されてゐる

### 國家の爲めに 斷然と告發 木下氏語る

右につき告發人木下良一氏は記者に語る「磐城炭礦會社はその罪跡を敝はん爲め種々、甘言を以て私を籠絡せんとしました、私も以前厄介になつた會社であり情に於て忍びないものはありますが國家の爲め斷然東京地方才判所に告發狀を提出し本月二十四日中島檢事局の聽取りを受けましたが事實は事實として如何とも致し方ありません」云々

# 復た問題を起し 湯本町政の紊亂
## 縣當局より再度の調査 未曾有の大失態

湯本町は區有財產處分區會廢止問題等近來町政の紊亂極度に達し高木町長の身邊には常に兎角の評絶わなかつたが去る昭和元年度の後半期町稅期の賦課に當り期間内に此れが調査を爲さず

**縣參事會** の決定に依つて賦課し次いで今年度の上期町稅賦課に當るや所得六、見立割四の割合に依るべきを所得五、見立割五の割合を以つて賦課決定した事縣當局の知る所となり嚴々詰責注意をされてゐたが高木町長は更らに反省の樣なく今下半期の町稅賦課に際し前二期の一大失態を蔽はんと爲し前二期の賦課を[illegible]賦課額[illegible]したが斯くの如き未曾有の一大失態にして遂に又々縣當局の探知するところと爲り

**湯本町に** 對し警告を發すると共に高木町長の陳辯を要求して來たが何故か高木町長は自ら出縣せず此の程町會議員渡邊長作氏に添ね豫ねて病臥中の中里助役を出福せしめ陳辯に當らせたが今や同町の自治制は極度の紊亂を爲し該問題は全縣下の視聽を集めるに至り成行頗る重大視されてゐる

# 中野氏の脫黨に 石城地方の共鳴
## 商港問題に奔走して 立派な脫黨振り

民政黨所屬代議士中野寅吉氏が小名濱商港問題に絡んの脫黨騷ぎは縣下政界に近來の一大センセイションを捲き超した事勿論であるが殊に石城郡地方に在つては小名濱商港の地元であるだけに政黨に多少の理解を有する程のものは昨日來寄ると障るとこの話しで持ち切りである

即ち多年の懸案たる小名濱商港の實現は一地方的の小問題でなく眞に國家的重要施設として所謂政黨政派を超越し一般その實現の一日も早からん事を翹望してゐた問題なので過般の縣會に於て差當りの多數黨たる民政黨のために一年繰延べの運命に逢着するが如き事あつては實に由々しき結果を招徠するであらうとの懸念から一部の病的偏見者流を除く大多數の縣民殊に地元民は該問題に當面せる民政黨の擧措に對し甚だしく慷慨たるものあつたが前記の懸念は幸にして所謂杞憂に終り一部[illegible]確定を[illegible]擧げて歡喜の情につゝまれてゐる折柄[illegible]地方福祉の開拓と國運伸展との前に黨の所謂偏狹的政策に[illegible]に於て堂々たる所信を提げ敢然として起つた今次の脫黨に對しては地方一般の共鳴措く能はざる處で會津の代議士中野寅吉氏は茲許石城の天地に大持てゞある

# 野崎、若松、鷺三君に質す
## 商港寄附增額の五萬圓は ◆……君等三人で負擔せよ

◎政黨政派を超越すべき國家的事業たる小名濱商港問題は遂に一政黨の爲めに言ふべからざる不結果を迎へ辛じて通過を見るに至つたが茲に注目すべきは石城民政黨選出、野崎、若松、黨の各議員が多數黨に和し拭ふべからざる黨議に依つて、地元小名濱町は勿論石城郡全体に且つて五萬圓の過重なる寄附金を背負ひ込むだ事實は彼等が如何に辯解しても斷じて容す能はざる行爲であると言はざるを得ない。

◎縣當局が提案した小名濱港修築案なるものは、總工費五百八十八萬圓對し國庫より百七十八萬圓淺野氏より百萬圓、地元小名濱より九萬圓、殘額百五萬圓の縣費を以て修築せんとする案である、政友會は河川港灣の改修は其政策の一として飽くまで原案の通過に力を致し一日も早く其實現を期する點に於て尤も能く活動した事は縣民の既に認めてゐる所であるが、之に反し民政黨はその多數黨を笠に故なき反對、理由を探げ、淺野氏の寄附に難癖を着け或はその契約書に故障を言ひ、或は調査に言ひ借りて、一年延期說を稱へ、或は地元小名濱に背重の寄附負擔を大ならしめむとするなど、多數を頼みての專恣横暴振りは、實に唾弃すべき行爲であつたのである

◎然れ共多數黨としての惱みは、如何に横暴な態度に出でようとしても、黨自体か、その主張する處一致を欠いて居た、それ即ちその反對の理由か、純理上正鵠を捕へ得ぬからである事を雄辯に物語つたものにして、揉みにもむだ其結果希望條件や絶体條件としてその提案に依つて原案を承認するに至つたのであるが實は、其雲行きが多數黨に利あらずして、稍ともすれば、黨の分裂をもすましき所から遂に不見識極まる條件に依つて原案の通過を見たのである

◎其結果は五萬圓寄附增額の條件そのものが殘されたのみで其他は水中の屁の如く何等提案に對しては多數黨たるべき機威がなく實に馬鹿氣だ主張であつた然るに本郡民政黨の選出議員は口を揃ひ『吾々の苦戰惡鬪が漸く茲に至らしめたものである』と恰も自己の手柄の如く吹聴してゐる

◎此の一言は石城郡民として決して閑逃す事の出來ぬ言動である、即ち地元寄附金五萬圓をして更に五萬圓增加を強ゆるは少くとも小名濱町をして自滅せしむるの野心あるに出てたるにあらざれば、石城郡内の町村長が結束して、陳情したる以上各町村に負擔せしめんとせる彼等多數黨の主張はその盡郡選出の前記三君か之を引受けたるものであると云ふも誰か否むものが出來得るであらうか

◎彼等五萬圓寄附增額の理由は中學校網の完成に俟つ地元の寄附は一中學校に對し十萬圓乃至十五萬圓であるに比し小名濱港の工費四百萬圓に對し、五萬圓は少額であると云ふにあるが以て、彼等の無識見極まるに一驚を禁じ得ぬのである寄附は、その學校建設候補地が競爭された事と縣經濟のみに依つて建設せねばならぬ事とは明らかに地元寄附金の多額に上つた最大の原因である

◎商港の如きは政府之に當り、その事業一部地方に偏重せすして、其範圍等も廣大である處から、國費を以て其半額を之に出するものであるが故、その根本性質に於て中學校の寄附と同視すべきものでない事は三才の兒童と雖も辯へ得る處であろう、茲に於て小名濱町は五萬圓過重な寄附に甘じたるに對し民政黨が更、五萬圓の寄附を過重ならしめんとした事は、尤も能く此の經濟關係を茶番化して見て居る認識にしてその低劣さ加減に呆れざるを得まい

◎殊に地元たる小名濱町からは民政黨の分身とでも云ふべき昭和會の會員が郡選出の民政黨所屬縣員の側を離れずに居從して居た點から見ても野崎、鷺、若松の三君が此の五萬圓の增加寄附を負込むたもの見るに何の誤りがあろう、若し右三君にして口に言ふ如く眞に地元を愛し五萬圓の增加案を一蹴して飽まで治外法權の許にその通過に忠なりせば五萬圓問題は、現はれずして濟むのであつたろうに、その茲に至らしめし事は三氏は愛黨心には忠實であつたらうが、愛鄉心には全然ゼロであると斷言して憚らない

◎前縣議小野晉平氏が野崎滿藏氏に向つて五萬圓の增加寄附は、石城民政黨の三君が負擔すべきであると道破したのは決して無理でない許りでなく縣費のみで建設された、中學校其他の縣の營造物と同日の談に見て、輕く引受けた事は全く縣民の代表的決議と見る事が出來ぬのである

◎多數黨なるものは地元たる石城郡、若しくは小名濱町に過重極まる負擔をなさしめ以て快哉を叫ふに至つては多數黨の權威何れにありやを疑ふものである殊に寄附は強ゆる能はさる精性質のものにして、若し地元町村が之を果せさる場合は縣は當然欠損として處理し縣が負擔すべき結果に至るべきを知らすし茲に至れるは多數黨の矛盾茲に至つて大なりと云ふべきである

◎要は五萬圓增額の寄附金は郡なり、町なりがすべきものであるか否かであるか若しなさねはならぬものとせば、よろしく石城郡民政黨の三議員並に昭和會の會員諸君がその責任寄附者たるべき事を野崎、若松、鷺の三名に一言を呈して筆を擱く。

# 石城郡の衆議院 選擧資格者決る
## 總數三萬八千百六十八人 各町村別の數

石城郡に於て來春五月執行される衆議院議員の選擧資格者名簿は九月十五日現在以て作製し一切の決定を見たが本郡に於ける資格者總數は三萬八千百六十三人で町村別左の如し

△泉七六六△渡邊四〇四△植田一〇四二△山田六二五△錦六八一△勿來一四七〇△上遠野九一七△入遠野八六二△川部八二八△田人九九五△平四一四三△飯野六三二△夏井五一三△高久四九七△豐間六八四△江名一〇二四△鹿島三六八△小名濱一四五一△玉川四五二△磐崎一七二四△湯本二二二二△内郷四四八△好間一八二五△赤井一四七四△組合永戸七四九△組合澤渡三坂七七七△神谷六七四△草野八四八△大浦八八五△四倉一三九△大野八〇九△窪六二八△組合上下小川下小川八二九△川前五九三△合計三八一六三

# 蠶業同窓會
## 廿五日に總會

縣立蠶業學校同窓會石城支會では來る廿五日午後二時から平町新川町新藤屋本店で今年度の最終總會を開催する事になつたが當日の協議事項は次の如くである

一、養蠶業經營對策に關する件二、養蠶組合設立並に養蠶教師斡旋に關する件三、縣立蠶業學校昇格運動に關する件其の他三項である

# 勿來町に 養鷄組合
## あす設立協議

石城郡農會では目下の農閑期を利用して盛んに農村の副業奬勵に努めてゐる事勿論の如くであるが當地方に於ける最も優秀なる養鷄地として知られてゐる郡南各町村では本郡唯一の養鷄組合を有する錦村を模範とし愈々組合設立の機運漸次醸成されつゝあつたが錦村に次ぐ養鷄地たる勿來町でも愈々組合設立の必要を痛感し同町養鷄者間には組合設立の運動を進められて來た結果明廿四日午前十時から同町役場樓上に於いて養鷄組合の設立相談會を催す事に決定したが各方面から頗る注目されてゐる

# 小名に工場
## 平製氷會社 明春迄に竣工

平製氷株式會社が過般の總會に於て小名濱町に工場を設置する事を決定した結果忽ち株式の相場が變動した程工場新設は有望視されて居り殊に數日前東京日東製氷會社和合社長が小名濱町に出張して實地調査した上將來極めて有望であると推稱した爲め移轉も俄に話が進み泉工場移轉を本月下旬から着工し明年の三月までに竣工せしめ明夏の製産に間に合せる事に決定した。新築工場は泉工場を移轉し三萬圓の工費を投じ新式碎氷機等の設備をなして漁船の便宜をはかる由であるが來年度には更に江名町にも工場を增設する計畫である

# 藤原川改修工事
## 工費三萬余圓で

石城郡磐崎村藤原川の改修工事に付いては去月中旬着工し本年度内に竣功の豫定で工事を急ぎつゝあつたが工費豫算三萬一千圓で平土木監督局内の本年度中に於ける大工事で吏員は出張工事を監勵中である

# 岡田家不幸
## 壽一郎君長逝す

平町同業磐城時報編輯長岡田弘成氏長男壽一郎君（當歳）は二週間ほど前より惡性の感冒に冒され後肺炎を併發し自宅で治療中一時小康を得たが二十日來病俄かに革まり今二十三日午前六時遂ひに永眠した、葬儀は本日午後四時新川町の自宅出棺大寶寺に於て行ひ茶火に附した上追て鄕里相馬郡中村町に埋葬の筈

# 石城地方
## 來春は寒いか 暖かすぎる

石城地方の本年は例年にない常寒遲れで長老連に不思議がられてゐるが昨今漸く冬らしい寒冷を示して來た雪は薄くはあつたが兎に角地上を白く見せた去十七日夜のそれを初降りとしても例年よりは數日おそく昨年に比ぶれば十日遲れてゐる此陽氣は結局明春になつて遲寒であらうと云はれてゐる


忘年會 新年會 同窓會
壹圓
日本料理五品 深鶴壹本付
平町南町 大和家 電話十四番



時計の進歩！遂に 振動不感の 腕用時計 を生めり
打付けてもたゝき付けても硝子も毀れず狂はない
側はクローム側にて小形です
TRADE MARK NIPPON OPHONE
平町四丁目 會田時計店 電話三六三



平町田町 高久病院 電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
内科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科



深キ經驗ト正シキ學理ヲ基トシテ最新ノ設備ト優秀ナル技巧ニ依リ
多產廉賣 萬年瓦 益々聲價ヲ漲ル
仙臺高等工業學校試驗證明
鐵道省 福島縣廳 栃木縣廳 青森縣廳 指定品
福島縣四倉町 萬年瓦工業株式會社 電話三八番



息壽一郎儀病氣治療中の處藥石効なく二十三日午前六時死去致し候段辱知各位に謹告仕り候
追而葬儀は二十三日午後四時自宅出棺大寶寺に於て相營み申候
昭和二年十二月廿三日
父 岡田弘成
外 親戚一同